

第 6 回 花火大会検証会議

会議録

【日時】 令和 6 年 12 月 5 日（木） 13:30～14:30

【場所】 福知山市防災センター 防災研修室

【出席者】（委員） 7 名（別紙参照）

（事務局） 産業観光課 大江課長、田中係長

（関係機関） 福知山警察署、福知山消防署

1 開会

2 開会挨拶

会 長： 前回の会議では、「現地検証結果（最終案）」、「今後の花火大会のあり方」、「花火大会検証結果報告書（案）」について、委員の皆様と積極的な意見交換を行わせていただいた。「現地検証結果」については、本日の会議までに事務局から委員の皆様に修正案を提案し、承認を頂いている。なお、確定版の「現地検証結果」を委員の皆様のお手元に配布した。本日は、主に次第の 3「協議事項」において、「花火大会検証結果報告書（案）」について協議したいと思う。また、12 月末をめどに市長に提出したいと思っている。

3 説明事項

（1） 花火大会検証結果報告書（案）について

事務局： 資料 1 に基づき「花火大会検証結果報告書（案）について」説明

会 長： 事務局より説明のあった花火大会検証結果報告書（案）について、項目ごとに分けて意見交換を行いたいと思うが、委員の皆様はそれでよいか。

委 員： よい。

会 長： では、1 ページの「はじめに」について、ご意見はあるか。表記の問題など何でも結構なので、何かご意見はあるか。

委 員： ない。

会 長： 次に 3 ページから 4 ページまでの「検証会議の開催等経過」について、何かご質問やご意見はあるか。

委 員： 第 1 回から第 6 回まで日時を記載してあるが、日付のみの記載であり、時間の記載はないので、必要であれば記載したほうがよいと思う。

会 長：時間も入れたほうがいいかもしれない。他の委員からご意見はあるか。

委 員：ない。

会 長：次に 5 ページから 17 ページまでの「議論の経過」について、ご質問やご意見、ご感想などはあるか。私からだが、6 ページの花火大会後に被害者の方から何かご意見はあったのかということの回答として、当日ボランティアに参加された被害者の方が、来年はご主人（被害者）と参加したいと仰っていたと記載されている。先ほど家族の方からご意見があったとの説明があったが、当日ボランティアに参加された被害者の家族ということなのか。

事務局：事務局から説明させていただいたのは、②の市への確認事項であり、回答欄にご家族の方からご意見があったという一文を今回の会議資料で追加させていただいた。委員の皆様からのご質問では、被害者の方から何かご意見があったのかという問いであった。回答は被害者の方ではなく、被害者のご家族の方からのご意見だったので、補足を兼ねて記載した。

副会長：「とご家族の方からご意見があった」とあるが、「と」は必要ないのではないのか。

会 長：伝言であるので、回答を「」でくくったほうがよいと思う。

副会長：17 ページ最後の段落の「意見交換を行う中で～」についてだが、それよりも前に「ア 花火大会の規模について」、「イ 福知山市の関与について」、「ウ 安全対策等について」という項目がある。そのうえで、「意見交換を行う中で～」の 7 項目について議論を行ったということには繋がりが無いと思う。「意見交換を行う中で～」の項目を「エ」のように変え、記載したほうが分かりやすいと思う。

会 長：構成や表記の問題であるが、事務局の方はいかがか。

事務局：「ウ 安全対策等について」の「評価するポイントもあった」という部分で区切りを付けるということではどうか。

副会長：「意見交換を行う中で～」について、①から⑦までであるが、「①花火大会の規模について」と「②市の関わり方について」は別の項目であって、③以下が安全対策である。「ア 花火大会の規模について」、「イ 福知山市の関与について」、「ウ 安全対策等について」とは別に「エ」とし、分けたほうがよいのではないのかという意味である。また、末尾の「議論を行った。」を「提案を行うことにした。」とする方がよいと思う。

事務局：そのように構成を修正させていただく。

会 長：「エ」のタイトルはどうすべきか。

副会長：タイトルは無しでもいいと思う。「エ」にしなくても間を空け、最後のまとめでもよいと思う。

委 員：間を空けて、先ほど言われたように「意見交換を行う中で～」とするべき。

会 長：他に委員の方からご感想、ご質問、ご意見はあるか。11 ページは結論の部分であり、結論付けた 4 つの判断理由もある。この他に付け加えたい理由やこれは違うということなど、何かご意見やご感想はあるか。

委 員：19 ページ（5）堤防天端のチケット所有者以外の立ち入りについて、「②住民に理解を求めること。必要であれば自治会等との話し合いの場を設けること」と記載があるが、どの時点で住民に理解を求め、自治会等との話し合いの場を設けるのか。例えば、実行委員会が始まる 1 回目の時に声掛けをして、2 回目や 3 回目くらいでお越しいただき意見を聞くなど、声掛けをする時期をもう少し明確にするべき。今後の話にはなるが、明確にしておけば、スムーズに招集がかけられると思う。来年度の実行委員会で考えられる項目だと思うが、地域住民の理解を求めるということであれば、範囲が広いため、少なくとも自治会長には言っていただき、説明する機会や場所を明確にしておけばよいと思う。書き方の問題もあると思う。

会 長：事務局の方いかがか。代表の方々が集まれる場所の確保も踏まえて、どのようなタイミングで説明をしたほうがよいのか。あるいは委員の方でアイデアがあれば是非お聞かせ願いたい。

事務局：話し合いのタイミングについては、委員の皆様からご意見をいただき、とりまとめさせていただくため、委員の方からご意見を頂戴したい。

会 長：いつ頃の時期、タイミングでの話し合いがよいか。

委 員：自治会の方からの話では、最初からと聞いている。自治会に実行委員会がどのようなタイミングですかということも、次年度に向けて明記する必要があると思う。

会 長：この点について、何か意見のある委員はいるか。第 1 回、第 2 回の早い段階から実行委員会が花火大会の計画をしているときに入っていただくことになると思うが、いかがか。「堤防天端の沿いの住民に理解を求めること。」のあとに、「花火大会の計画の準備段階の当初、あるいは早い段階で必要であれば、自治会等の話し合いの場を設けること。」という文言も考えられる。堤防天端の住民の方、実行委員会、市、その他の関係者の方と自治会がなるべく早い段階から話し合い、情報交換の場が設けられるという文言を事務局に入れてもらうということではよい。

委 員：よい。

会 長：では、事務局でもう一度修正したものを各委員に提示いただきたいと思います。他に 5 ページから 20 ページまででも結構なので、何かご意見はあるか。18 ページ（1）花火大会の規模についての「③来場者アンケートから安心安全に関する記述を抽出して、分析し、安全な運営に役立てること」については、私から事務局に提案させていただいたことである。この趣旨の説明であるが、何回か

前の検証会議で実行委員会が行った来場者アンケートに、かなり多くの記載があり、その中に安心安全に関する記述がたくさん見受けられた。それを分析していただくことや、このようなことがあった、危ないことがあったことを抽出しマッピングをしていただき、この部分で何かトラブルがあったと分かるようにする必要がある。アンケートで雑踏や露店、御霊公園で問題があったことなどがあれば、フィードバックし、来年に繋げていきたい。大学の講義で1つの事故や事件があれば、その前には200、300個ほどのヒヤリとするような問題があるといった「ハインリッヒの法則」というものがある。これを応用すれば、来場者アンケートの中にも委員が実際に現地で見られなかったヒヤリとした部分があったと思う。それを抽出して、分析し、あるいはマッピングをして、関係機関とも相談しながら、様々な問題があったとなれば、来年に繋がるため、③に入れさせていただいた。他に委員の方から5ページから20ページの中でご意見はあるか。

委員：18ページ（1）花火大会の規模についての「②安心安全な花火大会が可能で、実行委員会がリスク管理を行えることを基準とし、主催者、市、関係機関で協議し、規模（発数や時間等）を決定すること」について、意味がすぐには理解できない。安心安全な花火大会の開催が可能であるのか、何が可能なのかといった言葉が足りていない。実行委員会がリスク管理を行えることを基準とするといった一文についても、何が言いたいのかが分からない。安心安全な花火大会の開催が可能ということを基準として、主催者、市、関係機関で協議し、元々安心安全な花火大会の開催が可能だということを満たしたうえで、他の所の協議をしていき、更なる規模の拡大を決定することが言いたいということによいか。

会長：事務局から回答はあるか。これは私が付け足しをしたことであり、前後の内容からしても確かにパツとしない。安心安全な花火大会の開催が可能で、基準を満たすためには、実行委員会がリスク管理を行えないといけない。これから規模を拡大していけば、実行委員会がリスク管理をできない部分も出てくる。それでは困るというのが趣旨なので、安心安全な花火大会の開催が可能ということは、当然基準をクリアしているということになる。

委員：もう少しスッキリさせたほうが良いと思う。

会長：趣旨としては、安心安全な花火大会の開催が可能であり、実行委員会が安心安全を担保できる状態であることが前提であり、主催者、市、関係機関と協議し、規模を決定してくださいということによいか。

委員：前提とすることのほうが分かりやすいと思う。

会長：そのような内容で事務局に修正をお願いする。他に委員の方からご意見はあるか。

委 員：細かいことになるが、6 ページの確認事項の回答で「行ってもらいました」や「仰っていました」とあり、この2つだけ言い回しが丁寧になっており、他の所は「あった」と言い切りになっており違和感があるため、統一したほうがよいと思う。

会 長：事務局で一度確認をしていただき、そのうえで表記の統一をしていただく。他の委員の方からご意見はあるか。

委 員：19 ページ（4）露店についての提案 4-1 として、「混雑解消のために露店数を増やすこと」と記載がある。「混雑解消のために露店数を増やすなど、対策を講じること」とするほうがよいと思う。

会 長：確かにこのままだとあまりにもストレートで、「混雑解消のために露店数を増やす」となってしまうので、修正していただくということでよいか。

委 員：よい。

会 長：他に 5 ページから 20 ページまでで委員の方からご意見はあるか。

委 員：ない。

会 長：次に 21 ページの「おわりに」について、最終報告書の最後の部分になるが、何かご意見はあるか。

委 員：ない。

会 長：では、全ての項目についての意見交換はこれで終了する。本日の議論をもとに事務局において、検証結果報告書（案）の修正を行い、12 月末までに市長に提出したいと思う。

4 その他

会 長：これまでの協議を踏まえて、委員の皆様からご意見あるか。

委 員：ない。

会 長：ご意見がなければ、協議を終了する。

【今後の予定】花火大会検証結果報告書（案）を 12 月末までに市長に提出予定。

5 閉会